

## 第5回いちごの里さんむS1グランプリ出店者募集



今回で5回目の開催となるS1グランプリ。平成28年3月12日(土)の開催  
に向け出店者を募集します。目指せグランプリ！たくさんのご応募お待ちしております。

### ○応募条件

- ・千葉県内に食品衛生法に基づく営業許可を有する事業者の方
- ・山武市産の苺を使用したスイーツを開発できる方
- ・イベント当日に出店できる方

### ○応募規定

- ・先着20店舗
- ・交通費・宿泊費等は自己負担となります。
- ・苺を使用したスイーツを一口サイズで最低200食用意できること。

※数量の上限については自由とする。

- ・スイーツは1食300円を上限とし販売すること。値段設定は上限内で自由とする。

○**出店料** 出店が決定した場合、ブース出店料として1,000円をいただきます。なお、売上マージンは徴収いたしません。

○**注意事項** 応募者多数の場合は厳正な審査のもと出店者を決定します。

- ・売れ残りによる損害について、実行委員会では一切の責任を負いません。
- ・原材料となる苺は山武市成東観光苺組合より購入していただきます。
- ・審査員および来賓用に一部無償にて商品を提供していただきます。

### ○応募方法

- ・応募用紙に必要事項を記入の上、下記応募先までお送りください。

応募用紙は山武市成東観光苺組合、山武市、NPO 法人山武市観光協会のホームページからダウンロードするか、直接お問い合わせください

○**応募締切** 12月25日(金)

○**審査日時** 3月12日(土) (雨天決行・荒天中止)

来場者の投票によりグランプリ決定

特別審査員 ・山武市長 ・山武市会議長

・山武市経済環境部長 ・NPO 法人山武市観光協会長

・山武市商工会長

・千葉県菓子工業組合長 (予定)

### ○応募先

〒289-1392 千葉県山武市殿台296

山武市わがまち活性課内

いちごの里さんむS1グランプリ事務局 宛



☎ わがまち活性課

☎ 0475(80)1201

## ECOCAN@ 山武の開催

7回目の開催となるエコキャン。廃油を利用したエコなキャンドル作りに挑戦してみませんか。みんなで作ったキャンドルは、イベント当日に点灯します。

学校や友達同士などグループで作るキャンドルアートの参加も募集中！広口の空き瓶を持参してください。

**期日** 12月12日(土) 荒天時は翌日

**開催場所** さんぶの森公園

キャンドルづくり午後2時30分  
～・キャンドル点灯午後4時～

☎ わがまち活性課

☎ 0475(80)1201



## 松尾にぎわい処12月のイベント

5日(土) あげたてコロッケ販売 10:30～

6日(日) みかん・玉ねぎつめ放題 (有料) 10:00～

13日(日) みかんつめ放題 (有料) 10:00～

19日(土) 鶏のからあげ・タコヤキ販売 10:30～

20日(日) みかん・玉ねぎつめ放題 (有料) 10:00～

26日(土) メンチカツ販売 10:30～

27日(日) みかんつめ放題 (有料) 10:00～

※雨天の場合は中止になることがあります。

★生産者の方も随時募集中

☎ ききょうの里松尾企業組合

☎ 0479(85)5550





## 子育てコラム

# 体験活動で生き生きたくましく

なるとうこども園長 石井 佐代子

なるとうこども園が開園して3年目。子どもたちがどんな環境でどんな活動をしているのか、その様子を石井園長に紹介させていただきます。

なるとうこども園は、成東幼稚園と成東保育所が統合した幼保連携型認定こども園です。開園から3年目の現在は、0歳児から5歳児まで合わせて242人の子ども達が在籍しており、市内でもっとも大きいこども園になりました。施設は、地場産の木材である山武杉をふんだんに活用した、安らぎと温もりのある木造園舎です。玄関を入るとほんのり木の香りがする広い廊下が左右に伸びて開放感にあふれています。

なるとうこども園では、職員間の共通理解を深め、0歳児から5歳児まですべての子ども達が自らの力を十分に発揮して遊べるような「空間」をつくり、納得するま

で取り組む「時間」をつくってあげて、一緒に楽しむ「仲間」との関わりを大切にすると、三つの「間」を生きる力の基礎として身に付けられるよう援助しています。

その中で特色ある遊びを二つ紹介します。

まずは、5歳児の雑巾がけです。午前9時30分、雑巾を手にした5歳児が集まり、左右合わせて100メートルを超える長く広い廊下の雑巾がけを始めます。5歳児の雑巾がけは園の日課ですが、それには理由があります。市内幼稚園との交流時に子ども達が一緒に遊んだ時のことです。身長が3倍ほどもある高さの総合遊具を幼稚園の子ども達は楽しそうに何度も登り降りしているのに対し、なるとうこども園の子ども達は挑戦しても次々とリタイアしてしまいます。その姿を見て、「初めてだから……。」というだけではない、何かを感じ、「戸外での遊びが足

らないのではないか」「経験が少ないのではないか」など職員で話し合いました。そのなかで、体力づくりの取り組みの一つとして始めたのがこの雑巾がけです。

すすいで絞ることで全身の筋力・バランス感覚が育ち、干す動作では握力が付くことから、当初は乳児のハイハイのように進んでいた子ども達が遊びの一つとして雑巾がけリレーをするまでになりました。秋の運動会の組体操では見事にその成長した姿を見せてくれました。腕で体を支える、片足でバランスをとる、友達と協力して隊形を維持するなど自信を持って挑戦する姿に感動しました。頼もしく成長した姿を目の当たりにして、今後も5歳児の雑巾がけは続けていきたいと考えています。

次は、水遊びです。

雨が降ると大きな水たまりができる園庭は、子ども達には大好評です。「大きな鏡だね」「魚がいる



5歳児の雑巾がけリレー

よ」などと思ったことを言葉で表現し、顔を映してみたり、釣竿を作ったりして遊びが広がっていきます。

ところどころに地面が見えてくるようになるビルケースの一番です。「今日は7個で大丈夫だね」と水面に並べて橋に見立て、バランスをとりながら渡ったり、余裕が出てくると橋の上ルールのジャンケンが始まったりします。泥遊びが始まる頃には、靴はもちろん服も真っ黒に。それでも、今の時にしかできない経験を十分味わえる子ども達は幸せです。

なるとうこども園では園の環境を活かして、これからも「空間」「時間」「仲間」の三つの「間」を大切にして、子ども達に『生きる力の基礎』を身に付けさせていきます。